

伊方町議会第67回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
清家 慎太郎 議員	1 移動系無線機器更新について	町 長
質問の要旨		
伊方町の防災行政無線は2009年3月に整備され、防災上の連絡や行政情報連絡などに使用されており、住民の方々にとりまして大変有用な情報入手手段として重要な役割を果たしております。 その中で移動系無線機につきましては、消防団等防災担当機関が使用し、自然災害や火災など有事の際、またそれらを想定した訓練の際にデジタル時代の情報伝令手段として用いられております。 しかし整備から10年以上の年数が経っており、その間に様々な情報伝達機器が誕生し、機能向上が進んでおります。町の最重要防災機関である伊方町消防団の情報伝達行動の効率化を図ることにより、一層の防災・減災力の向上を目指し、それにより伊方町の安心安全をより一層確立するために、消防団の移動系無線機の更新あるいは新たな通信手段の導入を考える時期が来ていると強く感じます。 現行用いられております移動系無線機の課題といたしましては、基地局からの位置関係により集落の多くが通話不可能というところが複数あること、また現在においては機器の大きさがコンパクトではないため持ち運びや装着に不便な事などがあげられます。 それらの課題解決に、私の調べました範囲ではお隣八幡浜市が導入されておりますI P無線機が一つ参考になるものではないかと考えます。 I P無線機のメリットといたしまして、携帯電話の回線を利用するため全国エリアで通信が可能ということ。グループ通話・個別通話の両方が可能という事。機種によってはG P S機能を付与できることがあげられます。 デメリットといたしましては通信料がかかる事、山奥など携帯電話の電波が届かないところでは通信できない事、データ回線が込み合ったときなどは繋がりにくくなる可能性があることがあげられます。 I P無線は先行導入自治体がございますのでそれら自治体の使用状況などもご確認いただき、また他の機器とも比較ご検討いただき、繰り返しになりますが、より一層の伊方町の安心安全をより確立するために消防団の情報伝達機器の更新あるいは新たな通信手段の導入を考える時期が来ていると強く感じます。 質問といたしまして、町としては無線機器更新につきどのような見解をお持ちかお伺いいたします。		

質問者	質問の大綱	質問の相手
清家 慎太郎 議員	2 今後の観光地域づくり、地域DMOへの取組について	町 長
質問の要旨		
今年10月の議員全員協議会において登録DMO法人設立を目指す方向性が示されました。 観光地域づくり法人（DMO）は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人であります。このため、観光地域づくり法人が必ず実施する基礎的な役割・機能（観光地域マーケティング・マネジメント）としては、以下の点が挙げられます。 （1） 観光地域づくり法人を中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成。 （2） 各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略（ブランディング）の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立。 （3） 地域の魅力の向上に資する観光資源の磨き上げや域内交通を含む交通アクセスの整備、多言語表記等の受入環境の整備等の着地整備に関する地域の取組の推進。 （4） 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組みづくり、プロモーション。 以上のようなものになります。 要約すれば地域の自然観光資源やまちなみ・産業観光資源、歴史や文化、宿泊や食事、交通体系など多様な関係機関と連携を取りながら「観光地域づくりのかじ取りを行う法人」であり、関係省庁との連携や「強力な支援」も期待できるものであります。 お隣の八幡浜市ふるさと観光公社、大洲市のキタ・マネジメントが先に観光地域づくり法人（地域DMO）登録されておられますが、伊方町でも魅力あふれる観光資源が多数ございます。佐田岬灯台などの自然観光資源、はなはなや再開予定の亀ヶ池温泉などの施設型観光資源、近年充実してまいりました体験型観光資源、それぞれ持ち味がある宿泊施設。など。それぞれが魅力的な観光資源ではございますが現状では連携が十分に取れていない状況にあります。 それら観光資源と密接な連携をして、伊方町の観光を線でつなぎ、観光で訪れる方々の様々なニーズに資源を組み合わせ提案を行う事ができる観光地域づくり法人の存在はこれからの伊方町の観光に必要な不可欠なものと言えます。 そこで質問といたしまして、今後の登録DMOを目指した町の取組・DMOに期待する役割について伺います。		